

ゆうだあいより

【第二〇九号】平成三十年十二月一日発行

899-2431
鹿児島県日置市東市来町
美山1481番地1
友愛学園
☎ 099-274-2912
fax 099-274-9571

すてきな秋の一日に (秋桜杯)

子ども達の熱い想いが届いたのか、快晴のもと、今年も『秋桜杯』が開催されました。昨年は不参加でしたので力が入ります。駅伝、綱引き、大縄跳びの三種目で競います。駅伝では、職員も一丸となってタスキを繋ぎました。綱引きでは、小学生と中学生の部に分かれての参加でした。『絶対に負けたくない!』と、強い気持ちで歯を食いしばって頑張る子ども達の姿は、とても格好よかったです。その思いが通じたのか、小学生の部でなんと準優勝!!!



大きなトロフィーと、賞状を頂いた子ども達は、とても誇らしげでした。大縄跳びも、十人が息を合わせて飛び、入賞まで、あと二回という結果でした。すべての種目で一生懸命頑張った子ども達。早くも来年に気持ちが良いようです。

園内研修

先日、福山市立大学の野口啓示先生をお招きし、二日間にわたって園内研修を行いました。野口先生は、社会的養護の実践に携わる傍らで、大学で教壇に立ち、様々な研究を行っていらっしゃいます。今回は、施設の多機能化に向けての講話と、ペアレントトレーニングの実践について教えて頂きました。先生が現在取り組まれている研究の中でも、特に里

親委託や措置変更の予防的ケアについての私見が大変興味深いお話をしました。ペアレントトレーニングの実践については、グループに分かれてのワークを行い、とても実践的な内容をお話し頂きました。施設職員としてのご経験もあり、話の折々で私たち職員がぶつかりやすい悩みやジレンマについて触れて頂きました。毎日の生活を振り返って、日々追われて見えにくくなっていたものや、改めて大切にしなければならぬと心新たにしたことなど、聴講した職員一人一人に響くものが多くあったのではないかと思います。このときの気持ちを心に留め、これからの職務を全うしていきたいと思えます。

ホーム活動 ～ 開聞岳二題

☆ A棟 登山 ☆



十一月十一日にA棟は開聞岳登山にいきましました。序盤の緩やかな登山道から、次第に傾斜も厳しくなり、大きな岩がせり出して、頂上への道もとても厳しいものでしたが、誰も音を上げることなく登って行きました。そして全員が無事登りきる事が出来ました。山頂から広がる絶景の中で食べるお弁当は格別でも美味しくいただきました。小二のH君は以前は頂上まで行けなかった事を話をしながら頑張って登り、その姿に頼もしさを感じました。

朝早くの出発で子ども達も大変だったと思いますが、最後まで登りきり、頑張れたことが、これからの力になればいいなと思います。

☆ D棟 『リベンジ』の登山 ☆

十一月二十三日、開聞岳登山に行きました。実は去年も挑んだ子どもたち。しかし、途中で天候悪化のためやむなく下山。今回はそのリベンジ登山です!!! 小一のH・Tさんは、「空気が気持ちいいね。今は心地悪くないよ。だってお腹の中が優しい空気です!!!」



「ばいだから」と可愛らしい発言。職員も元気が出ます。途中、はしごで登らなければならぬ場所もあり、怖くて足がすくんで動けなくなったり、山頂が近づくとつれて気温が低下し、手の感覚を失うほどの寒さとの戦いもありました。それでも十二時三十分、全員揃って無事、登頂!!! 山頂で食べるお弁当は、普段の何倍も美味しく感じました。下りで足が痛くて泣いてしまった小一のH・Oさん。「あの山のでつべんまで歩いて行ってきたんだよ」と職員から励められ、麓から開聞岳を眺めた時の誇らしげな顔が忘れられません。往復八時間。みんな本当によく頑張りました。

ご協力に感謝

島津様 中尾様 宮田様
フードバンク様 全国シヤンメリー協会様

ご協力ありがとうございました。

保護者の皆様へ (お知らせ)

今年も、年末年始の帰省の時期が近づいてきました。今年、帰省期間は、**十二月二十九日から一月六日までの九日間**です。無理のない日程でご検討の上、担当までご連絡ください。

12月1日児童数36名

	(女子)	(男子)
幼児	2名	1名
小学生	10名	9名
中学生	3名	4名
高校生	2名	5名
小計	17名	19名

12月の行事予定

3日	川商期末考査	～6日
	市農・申高期末考査	～4日
4日	幼 持久走大会	
5日	小 持久走大会、小PTA	
7日	東中1,2年授業参観PTA	
8日	土曜授業	
12日	東中持久走大会	
14日	市来農芸持久走大会	
15日	子ども会クリスマス会	
21日	幼・小・中・高終業式	
25日	学園クリスマス会	
26日	大掃除	
27日	もちつき大会	
29日	正月帰省期間	～1/6